

環境教育教材ネタいろいろ（うたあり、おどりあり、くいずあり...）

その1 今回、各方面より環境教育に関する資料を投稿していただきましたので、ここに紹介します。まずは、広島地球ウォッチングクラブ事務局 環境サポーター松本誠一 さんからの資料です。松本さんありがとうございました。



はじめに
私たちが毎日なにげなくいろんなものを使っています。このものについてみなさんは何か考えたり思ったりしたことはありますか？この“もの”についてこれから学んでいきましょう。

私たちが使っているこのものは、ほとんど使いおわったり、用がなくなったりするとすててしまいます。これらの『もの』はこれから先、どこへいくのでしょうか！？みなさんはどうしていますか。ものといってもいろいろなものがありますよね。かたいもの、やわらかいもの、いたいのもの、こわれやすいもの、冷たいものなどあります。

このあとや、いろいろな人たちによって集められたり、分けられたりして、新しいものになったり、使えないものはうめ立てられたりされています。このほかにも、ものはすべて集められているのでしょうか。ひごろ道を歩いていて、ふと見かけたことはありませんか？どこにありますか。もともどこにあったのでしょうか？どうしてここにあるのでしょうか？これらのあちらこちらで見られる『もの』について考えていきましょう。分からないことやどうしても思ったら自分でしらべてみるといろいろと分かってきます。

広島市環境局輿境企画課
—広島地球ウォッチングクラブ事務局—
環境サポーター 松本誠一

1.ごみのしゅい

- 燃やせるゴミ ...燃やされる(焼却)
- 燃やせないゴミ ...埋立
- 資源ゴミ ...生まれ変わる=再生
- 大型ゴミ ...こなごなにこわす=破砕
- 有害ゴミ ...保管後無害化処分

2.ごみについて

焼却 } → これらの「場所」がない

埋立 }
ゴミをそのまま捨てるのではなく

ゴミがあちこちにちからないように

まちをきれいにするために

ごみをへらすために私ができることは

『ごみ』について学んでどうでしたか。

今日学んだことをこれからの生活のなかで、自分のできることから始めてみよう！私たちの国は“資源”が少なく外国から買っています。一度、使いそのまま捨ててしまうとまた買わなければなりません。捨てる場所もかぎりがあります。年々その場所が少なくなりいろいろな問題がおこっています。どうすればいいのでしょうか？

『ごみ』といってもいろいろありましたね。ごみでもその人によって考え方や使い方がことなります。あなたはどうですか？スーパーやデパート、電器店などにはいろいろなものがあります。これらの『もの=商品』はどのようにしてここまでたどりついたのでしょうか。自分でしらべてみると新しいことやおどろくことが出てくると思います。

これだけは覚えておこう

ごみは一度捨ててしまってもう必要ではなくありますが、それがたくさん集まると再び別な「もの=商品=資源」になります。